

企画者のことば

近年、産婦人科で取り扱う対象の領域は大きく拡大し、目の前の疾患に対峙する医療面から、予防や社会的な面の対策に至るまで、幅広い発展を遂げてきました。

そのなかで女性ヘルスケアの分野は新たに広がりをもせた領域の1つですが、その内容においても、多様な診療内容や項目に及んでいます。この分野には高齢者に対する様々な対策に端を発し、先導してきた歴史がありますが、限られた分野の集合体であった当初の目的から多様な領域にまたがる対象へ広がり、実際には若年層に対する様々な課題について、産婦人科医に求められることも多いのが実情です。感染症、避妊、がん生殖、GID、セクシュアリティなど含まれる項目も多岐にわたっています。

これまでに、この分野の解説書としていくつかの教科書や医学誌が発刊されてきましたが、項目が年齢層からの分類で整理されていることが多くみられます。その一方で、診療内容によって分類された書はあまり目にすることはありません。現実の診療の場で相談に対応する際に役立つものとして、診療対象の内容から分類し整理する書が求められています。さらに、現在注目されているAYA (Adolescent and Young Adult) 世代の女性を対象とした課題に対して必要性を認識し、これらの新しいニーズに応える座右の書として診療に役立てられるよう本臨時増刊号で特集しました。初学者をはじめ多くの臨床医に役立つことを願っております。

2022年9月吉日

慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

末岡 浩
Kou Sueoka